



## MATERION

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Indium Metal
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名	Materion Advanced Materials
住所	6070 Parkland Boulevard Mayfield Heights, OH 44124 米国
担当者 (作成者)	Theodore Knudson
電話番号	1.216.383.4019
	情報なし
メールアドレス	ehs@materion.com
緊急連絡電話番号	See Section 16.
整理番号	G03

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。
健康に対する有害性	特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分3 気道刺激性
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素  
絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ。
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。粉じんの吸入を避けること。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。換気が不適切な場合は呼吸保護具を装着すること。
応急措置	呼吸器症状がある場合: 医師に連絡すること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物 / 容器を (関連する規則に従って) 廃棄すること。
GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性	知見なし。

その他の情報 詳細については、+1.216.383.4019で製品管理部門にお問い合わせください。

## 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候	長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。
非常事態の概要	呼吸器への刺激のおそれ。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
インジウム	7440-74-6			99.9 - 100
化学式	入力 (7440-74-6)			

## 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	ドライケミカル、砂、ドロマイトなど。二酸化炭素 (CO2)。
使ってはならない消火剤	水。
火災時の特有の危険有害性 任意	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具を着用する。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。粉塵の生成および粉塵の拡散を避ける。粉塵の吸入を避ける。ミスト / 蒸気の吸入を避けること。十分な換気を確保する。
環境に対する注意事項	下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉塵を発生させないように留意して回収し、廃棄する。サルベージや廃棄をするには、シャベルですくい容器に入れる。物質を掃き集め、適切な容器に入れて廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策 (局所排気、全体換気等)	適切な換気を行う。
安全取扱い注意事項	使用中は飲食や喫煙をしない。取扱い後は手をよく洗うこと。産業衛生に気を配る。
安全取扱注意事項	
衛生対策	本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
保管	
安全な保管条件	データなし。
安全な容器包装材料	錠をかけて保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 標準監視手順に従ってください。

### 暴露限界値

米国. ACGIH 限界値

物質	タイプ	数値
Indium Metal	TWA	0.1 mg/m3
成分	タイプ	数値
インジウム (CAS 7440-74-6)	TWA	0.1 mg/m3

### 生物学的許容値

日本産業衛生学会 - 生物学的許容値

物質	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
Indium Metal	3 µg/l	インジウム	血清	*

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
インジウム (CAS 7440-74-6)	3 µg/l	インジウム	血清	*

\* - サンプルングの詳細については原資料をご参照下さい。

**設備対策** 適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせて。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。

#### 保護具

**呼吸用保護具** 換気が不適切な場合は呼吸用保護具を使用する。  
**手の保護具** 保護手袋を着用すること。  
**眼、顔面の保護具** 接触の可能性がある場合、サイドシールドのついた安全メガネが望ましい。  
**皮膚及び身体の保護具** 適切な保護具を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体。
形状	固体。
色	シルバーホワイト。
臭い	なし。
臭いの閾値	該当しない。
融点 / 凝固点	156.6 °C (313.88 °F)
沸点又は初留点及び沸点範囲	2072 °C (3761.6 °F)
可燃性	該当しない。
<b>爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界</b>	
爆発限界 - 下限 (%)	該当しない。
爆発限界 - 下限・測定温度	該当しない。
爆発限界 - 上限 (%)	該当しない。
爆発限界 - 上限・測定温度	該当しない。
引火点	該当しない。
自然発火点	該当しない。
分解温度	該当しない。
pH	該当しない。
動粘性率	データなし。
<b>溶解度</b>	
溶解度 (水)	不溶性
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	該当しない。
蒸気圧	< 0.0000001 kPa (25 °C (77 °F))
<b>密度及び / 又は相対密度</b>	
密度	7.31 g/cm <sup>3</sup> 20°Cで
比重	該当しない。
相対ガス密度	該当しない。
粒子特性	データなし。
<b>その他の情報</b>	
蒸発速度	該当しない。
爆発限界	該当しない。
爆発性状	爆発物でない。
分子式	In
分子量	114.82 g/mol

酸化能力	酸化性でない。
比重	7.31
粘度 (粘性率)	該当しない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。酸。Sulfur。ハロゲン類。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

急性毒性	知見なし。
皮膚腐食性 / 刺激性	製品の形状からして該当しない。
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	目を刺激することがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。
皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。
生殖細胞変異毒性	区分に該当しない。
発がん性	ヒトへの発がん性を分類できない。

### 日本産業衛生学会 - 発がん性物質

インジウム (CAS 7440-74-6) 2A ヒトに発がん性の可能性が高い。

生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	呼吸器への刺激のおそれ。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない。
誤えん有害性	吸引性呼吸器有害性でない。
その他の情報	知見なし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。
残留性・分解性	
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない (「廃棄上の注意」参照)。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

IATA	危険物には該当しない。
------	-------------

## IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC 該当しない。

コードによるばら積み輸送される  
液体物質

国内規制 国内輸送については 15 章の規制に従うこと。

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

#### 通知対象物

インジウム

別表第9 政令番号 58

#### 表示対象物

インジウム(粉状)

### 毒物及び劇物取締法

#### 特定毒物

該当せず。

#### 毒物

該当せず。

#### 劇物

該当せず。

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

#### 第一種特定化学物質

該当せず。

#### 第二種特定化学物質

該当せず。

#### 監視化学物質

該当せず。

#### 優先評価化学物質

該当せず。

#### 届出不要物質

該当せず。

### 化学物質排出把握管理促進法

#### 特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

#### 第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

インジウム及びその化合物 (Inとして) 政令番号 44

#### 第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

### 船舶安全法・危規則

該当せず。

### 航空法・施行規則

該当せず。

### 火薬類取締法

該当せず。

## 16. その他の情報

### 引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート ( SDS )

### 詳しい情報

Transportation Emergency

Call Chemtrec at:

International: 703.741.5970

Spain: 900.868.538

Switzerland: 0800.564.402

**免責条項**

本書は、技術的に信頼がおけるとみなされる情報源からのデータと、正しいと見なされる情報に基づいて作成されているが、Materionは本書に明示もしくは暗示されている情報の正確性について保証するものではない。Materionは、この情報およびその製品が使われるすべての状況を予測することはできず、また製品使用時の実際の条件は統制できない。従って、ユーザーはこの製品を特定目的のために使うにあたり、分かり得るすべての情報を評価し、国及び地方公共団体の法令に準拠する責任がある。

**その他の情報**

セクション16の改訂情報。